

令和5年度 第67回日本読書学会大会

プログラム・要旨集 正誤表

1) 発表取消

次の発表は本人からの取下げの申し出により発表取消となりました。

A2-1 「楽しみの読書」を学校で推進する上での矛盾と課題—現状の分析と考察—

桜井政成

令和5年度 第67回日本読書学会大会プログラム

日程：2023年9月24日（日）10:30～16:10

〈10:00～〉受付

〈10:30～12:00〉個人研究発表 第一会場（603号室）／第二会場（604号室）

〈12:10～13:30〉理事会（603号室）

〈13:40～14:10〉総会（604号室）

〈14:10～14:30〉表彰式（604号室）

〈14:40～16:10〉個人研究発表 第一会場（603号室）／第二会場（604号室）

場所：林野会館（東京都文京区大塚3丁目28番7号 電話03-3945-6871）

*地下鉄丸ノ内線茗荷谷駅から徒歩7分、筑波大学附属小学校正門近く



参加費：会員3000円、非会員3500円、学生2000円

*発表及び参加は全て事前申込制であり、当日の参加申込は受けつけられません。

*研究大会に参加される方は、発表者以外の方も必ず事前の申し込みをお願いいたします。

参加申込締切：2023年9月7日（木）

参加費納入締切：2023年9月7日（木）



*発表要旨集はPDFデータで作成し、参加費をお支払いいただいた方のみへの公開とさせていただきます。

*参加費は **9月7日** までにお振込みください。会場での払込はできません。

郵便振替口座番号：00160-4-790648

郵便振替口座名称：日本読書学会

銀行名：ゆうちょ銀行 金融機関コード 9900

店番 019

預金種目：当座

店名：〇一九（ゼロイチキュウ）店

口座番号：079064

大会実行委員会

実行委員長：上谷順三郎（鹿児島大学）

副実行委員長：福田由紀（法政大学）

実行委員：足立幸子（新潟大学）・平山祐一郎（東京家政大学）・勘米良祐太（武蔵野大学）

事務局長：深谷 優子（國學院大学）

大会関連のお問い合わせは日本読書学会事務局まで。



- * (発表者) 個人研究発表は、20分発表、10分質疑応答、計30分です。
- * (発表者) 配布資料がある場合、各会場入口付近のテーブルに置いてください。
- * (発表者) 投影資料がある場合、開始前に接続の確認を行ってください。
- * (発表者) 発表する研究は、倫理的な問題がないことが前提となります。研究発表では、個人や所属組織等、または特定の商品などの宣伝は慎んでください。
- * (参加者) 研究発表の映像や資料の撮影・録画・録音は原則禁止です。
- * (参加者) 質疑応答では、質問者はお名前とご所属を述べてからご質問ください。

<10:30~12:00> 個人研究発表 (A1) 第1会場 (603)

司会：藤森裕治 (文教大学) ・深谷優子 (國學院大學)

A1-1 語彙学習方略としての定義法から見た国語辞典の活用実態

塚田泰彦 (関西外国語大学)

A1-2 中国における親子の絵本読書の推進—民間の絵本読書推進者に注目して—

劉娟 (横浜国立大学)

A1-3 読むこと (説明文) における「考えの形成」に関する—考察— 小学校2年生「おにごっこ」の実践を通して—

大村幸子 (お茶の水女子大学附属小学校)

<10:30~12:00> 個人研究発表 (A2) 第2会場 (604)

司会：井関龍太 (大正大学) ・山下直 (専修大学)

A2-1 「愉しみの読書」を学校で推進する上での矛盾と課題—現状の分析と考察—

桜井政成 (立命館大学)

A2-2 スペインの学力調査 LOMCE 評価 (2014-2021) における国語学力調査—中学校4年生調査を中心に—

足立幸子 (新潟大学)

A2-3 毎日新聞社の「読書世論調査」と「学校読書調査」：1947年—2019年

大庭一郎 (筑波大学) ・石井亮太 (株式会社あさひ)

<12:10~13:30> 理事会 (603)

<13:40~14:10> 総会 (604)

<14:10~14:30> 表彰式 (604)

*受賞者の研究紹介も行われます。

<14:40~16:10> 個人研究発表 (P1) 第1会場 (603)

司会：荷方邦夫 (金沢美術工芸大学) ・勝田光 (筑波大学)

PI-1 オンラインによる読みの交流における学習者の学びの姿—宮沢賢治と小川未明を校外の他者と協働的に読む実践研究—

岩船尚貴 (上越教育大学附属中学校)

PI-2 国語科教科書における複数素材問題の現状と分析

鈴木孝典 (埼玉県立宮代高等学校)

PI-3 国語科読解指導における複数教材選択システムの基礎モデルの検討

篠崎祐介 (東京学芸大学) ・三上剛 (苫小牧工業高等専門学校)
・佐藤正直 (北海道教育大学) ・幸坂健太郎 (北海道教育大学)

<14:40~16:10> 個人研究発表 (P2) 第2会場 (604)

司会：足立幸子 (新潟大学) ・藤木大介 (広島大学)

P2-1 読書が苦手だった人の知的好奇心は読書会参加体験によってどう変化するのか?—複線径路・等至性モデルによる検討—

三宅善子 (こころの研究所レタス) ・高木伸也 (こころの研究所レタス)

P2-2 Web 調査における物語文章読解研究の難しさ

常深浩平 (淑徳大学) ・望月正哉 (日本大学)
・井関龍太 (大正大学) ・福田由紀 (法政大学)

P2-3 Web 調査による文章読解研究の妥当性の検討—利用デバイスに注目して—

福田由紀 (法政大学) ・井関龍太 (大正大学)
・望月正哉 (日本大学) ・常深浩平 (淑徳大学)

◎読書科学投稿へのお誘い

ただいま、「読書科学」編集委員会では皆様からの論文投稿を熱望しております。

テーマは読書活動のみならず、読む・書くといったディスコース全般、国語教育に関わるすべてのことが対象となり、間口は非常に広い学術雑誌です。また、基礎的な研究だけでなく、実践研究も大歓迎です。

投稿してから1ヶ月足らずで査読結果がお手元に届きます。このタイミングは日本の査読誌では、群を抜いて早い対応といえます。また、きめ細かく査読をしていきます。

読書やディスコースに関するデータを持っているけれど、どこに出したらいいか迷っている方はどうぞ、お気軽に「読書科学」にご投稿下さい。また、そのような方が身近にいらっしゃる場合には投稿を勧めて下さい。

編集委員会は、皆様の研究を支え、日本における読書にまつわる研究の隆盛を図りたいと希望しています。

投稿の手続きの詳細に関しては、学会ホームページをご覧ください。

◎国際学会発表支援事業について

会員による国際学会発表に対して日本読書学会として支援する事業を本年度も募集します。支援内容は、海外渡航費の一部について、毎年度5名を限度として、一人最大10万円を上限として支援します。発表の様子は『読書科学』誌にて報告していただくこととなります。会員であればどなたでも応募できます。ぜひご活用いただきたいと思います。詳しくは学会ホームページをご覧ください。

